

●ここにすばらしいオトコがいるぞ！

ツビイ・ツビイ・ツビイ……1月下旬
あたりから、都内で最初のさえずりが聞
けるシジュウカラ。そして、暖かい日が
少しずつ多くなってくる2月の終わり頃、
それまで庭のえき台に夢中だったシジュ
ウカラは、かなり長い間、こさえできえず
るようになります。さらに1ヶ月、花だ
よりもとどく頃には、オスは1日のうち
のかなりの時間をさえずりに費やします。
さえずりは、「この場所、この地域は、おれ
のなわばりだ！」と、他のオスへの宣言で
あり、メスに対しては、「ここにすばらし
いオトコがいるぞ！」という呼びかけでも
なわばりの範囲は、シジュウカラ同志
の衝突によって決まります。互いになわ
ばりの中心から離れた方が弱気になって
逃げ出でて、両者のゆずり合わぬ線
というのがだいたいできあがってきます。
オスはその間も、なわばりの中に、巣を
つくるのに適当な穴をさかしておきます。

愛すべきシジュウカラのカップル

メスがやってくると、その番いとして
のきずなを深めるコートシップ・フィー
ディングという行動をします。メスはオ
スの前に出ると巣を縮めるようにし、翼
をこまかくふるわせ、口をあけてえさを
ねだるようにし、甘えた声で鳴くのです。
ちょうど、巣立したばかりの子が親
にえさをねだるのと同じ動作です。オス
は、近づいてきたメスに、そうせざるを
得ないような動作態度でえさを与えます。
それから、オスはメスに連れて、なわば
りの中に見つけておいたいくつもの穴を
めぐります。メスは、穴に入ったり、周囲
かく眺めたり、いろいろ調べてから巣を
決めているようで、すまいの最終決定権
は、メスが持っているらしいのです。

シジュウカラは 巣箱に招べる

ところで、シジュウカラが人工的な巣
箱を使うことはご存じですか。巣穴に
なりそうな大木がある森林ならともかく、
人の住居近くや、大木のない林などに巣
箱をかけておくと有効な使われ方をしま
す。5月10日からの愛鳥週間に、よく
巣箱かけが行われますが、有効な使
われ方をせずに朽ちてしまうことが多いのは
残念です。シジュウカラの生活を見てい
れば、巣箱をかけるのは少なくとも3月
初め頃まで……ということがわかるので
すが。

せっかく巣箱をつくった皆さんたちに、
自分でかけた巣箱を野鳥が使った、とい
う経験を、ぜひしていただきたいと思
います。そういう楽しい経験があれば、野
鳥を見ても、石をぶつけるなどというこ
とはできないでしょうから……。



ヒトの心の中「トリの保護区」

財團 法人 日本鳥類保護連盟
サントリー株式会社

●この広告は、財團法人日本鳥類保護連盟の指導を得て、
サントリー株式会社がシリーズとして制作するものです。

51.2A-SAI

シジュウカラの春

